

## 第14回加古川市石綿関連疾患リスク推定部会 次第

日時：令和4年8月 8日（月）14:30～

場所：市民会館 大会議室

1. 開 会

2. 部会員出席状況報告

3. 配布資料確認

資料1 令和4年度実験仕様書（案）

4. 議 題

議題1 令和4年度に行う再現実験について

【資料1】

5. その他

6. 閉 会

## 令和 4 年度実験仕様書（案）

令和 4 年度に実施予定の実験の仕様は下記のとおりです。

現場の状態によっては委員の判断により、実験当日に大幅な変更を行う可能性や中止の判断をする可能性があります。

### 1. 業者ヒアリングで明らかとなった主要な石綿ばく露

- (1) 8月 6日 カッター切り作業、連続する研り作業 4階 3時間
- (2) 8月 7日 カッター切り作業、連続する研り作業 3階・2階 3時間
- (3) 8月 8日 カッター切り作業、連続する研り作業 1階 3時間
- (4) 8月 6～8日 （他の職員が並行作業する）足場歩行とガラ落とし
- (5) 8月 14～15日 外で養生・足場撤去に係わるガラ落とし、棕櫚箒による大きな清掃作業 1日（建物に人は不在だった）
- (6) 8月 17日 建物階段で掃除

### 2. 別府中下地調整材を含んだ再現実験案

場 所：除去業者所有のチャンバー（関東 5 m×6 m×高さ 2 m）内を二重養生し、更に巾 1 m×長さ 6 m×高さ 2 m に部分養生を設置する。（**図 メンテナンスルーム参照**、隣に事務室があり、顕微鏡の画像チェックや待機が可能）

日 時：8～9月の土日実施できるように曜日調整中。

前日夜に関東の除去業者近隣に集合

負圧の稼働：最小限の稼働にとどめる。

実験中に負圧排気部で、石綿濃度の測定を行い、外部の漏れのなかった点は確認する。

作業の再現：（1）使用できる別府中の下地調整材を含んだサンプルが直径 10cm 以下で厚さ 10cm と限定されている。

（2）本来エアール工具の使用が望ましいが、一定時間粉塵を出し一定値となる必要性があり 2020 年に採取した実際の建材を用いて電動サンダー（ドイツ ヒルテイー社のディスクグラインダーも用い除去業者職長 Y氏がこする作業を行う。

（3）最初の 1 回目は、別府中のサンプルの裏側のセメント部を用いて、ディスクグラインダーも用い除去業者職長 Y氏がこする作業を行う。富田氏は、個人サンプラーと養生内固定サンプラーの位置を、実際の測定を行いながら修正し、Y氏と連携し、部位等を適切なものとする。

（4）2 回目に、試しに別府中のサンプルの下地処理部を用い、フィルター面の粉塵とアスベストのチェックを行う。

（5）適切な濃度測定体制が整ったと判断すれば、別府中の 3～4 サンプルを使用して、石綿の最大発塵の実験を行う。

（6）足場歩行は当時も同時に行われていたため、内部で職員役（名）が歩行する。

測定：富田委員、補助員1名  
作業：除去業者職員、名取委員  
指揮：名取委員、亀元委員、除去業者職員

### 3. 下地調整材の除去作業の石綿濃度と無害ガス濃度の相関

概要：1日かけてアスベストの距離減衰や時間減衰を測定するため、下記の2作業を再現する。

- (1)「カッター切り作業・歩行・ガラ落と同時作業」1～3時間
- (2)「粉状の石綿の掃除作業」1～3時間

目的：ガスとアスベストの濃度の相関の把握  
建物内部への距離減衰・時間減衰の確認

場所：関東の下地調整材除去現場 **委託契約後決定予定。**

日時：11月～3月頃 金曜日午後 現場確認  
土曜日終日 実験  
※翌週月曜から現場除去開始

負圧の稼働：最小限の稼働にとどめる。

作業の再現：(1) カッター切り作業・歩行・ガラ落と同時作業1～3時間  
石綿濃度 ガス拡散実験 同時は難しいか？  
電動サンダーを使用したカッター切り作業を行う。  
足場歩行は当時も行われており内部で職員役(名)が歩行する。  
(2)「粉状の石綿の掃除作業」1～3時間再現  
石綿濃度 ガス拡散実験 同時は難しいか？

測定：富田委員、補助員1名  
作業：除去業者職員2名、歩行・掃除 名取委員  
指揮：亀元委員・除去業者職員  
立会：気象協会職員 数名  
日程：(1)7～8月 必要なら除去業者・気象協会 現場担当者実務打ち合わせ  
(2)10月木・金曜日に事前準備 気象協会職員数名  
木曜日午前 亀戸ひまわり診療所で石綿則健診受診  
木曜日午後 石綿則安全講習受講(4時間30分除去業者職長等)  
亀戸会議室  
金曜日 除去業の関東の他の現場で石綿除去作業見学(確認)  
(3)11月～3月  
金曜日午後 測定現場で打ち合わせ  
土曜日午前 (1)「カッター切り作業・歩行・ガラ落と同時作業」  
1～3時間 再現 石綿濃度  
※懸案事項 粉じんとガスの同時拡散実験は難しいか？  
土曜日午後 (2)「粉状の石綿の掃除作業」1～3時間 再現

